

## E1 シリーズリニューアール事例

名古屋市千種区

## 名古屋大学 大学院工学研究科1号館 様

## 施設概要

所在地	名古屋市千種区
建築主	国立大学法人名古屋大学 様
建物用途	大学院研究棟
階数	地上9階
延床面積	16,157m <sup>2</sup>
空調リニューアール時期	2009年11月
GHP設置場所	地上、屋上



## ご採用機器

Before リニューアール前  
ガスヒートポンプエアコン

リニューアール

After リニューアール後  
アイシングスヒートポンプエアコン

E1  
SERIES

## ■ 室外ユニット 計41台 833馬力

E1シリーズリニューアール対応機  
ハイパワーまとマルチタイプ16馬力×13台、20馬力×15台、  
25馬力×12台

ハイパワーマルチタイプ

25馬力×1台

## ■ 室内ユニット 計343台

主な室内ユニット ダブルフロータイプ

連結冷媒  
配管レス

室外ユニット

校舎屋上、地上に設置



室内ユニット

ダブルフロータイプ(教室に設置)

## Merit

## リニューアールのメリット

- 小型化したE1シリーズにまとめたので、  
設置スペースを大幅低減(右写真)
- まとマルチのご採用により、  
低負荷時は1台運転なので省エネ  
ローテーション運転で長寿命化  
配管材料・作業費を低減



※掲載記事、写真、図表などの複製、無断転載を禁止します。

## ● お客様の声 (個人の感想です。設置状況により異なります。)

使用していましたGHPが更新時期が来たことから更新を検討しました。構内において契約電力制約があり、空調運転が制限されていたためGHPにしました。ガス会社様より連結マルチは省エネ性・環境性に優れており、ローテーション運転で長寿命化できると伺い、採用を決定しました。